

事業者向け

放課後等デイサービス自己評価表

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制 整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	5	3	0	運動で狭い時は外部施設の利用を検討中である。 空間作りは必要かもしれない。
	②	職員の配置数は適切であるか	7	1		送迎に行っても少ない人数の時もあるがだいたいは適切である。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	6	2		玄関やトイレがバリアフリー化されている
業務 改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	7	1		毎日のミーティングで振り返りを行い、今後のの支援に生かしている
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	7	1		昨年度のアンケート結果を職員間で共有し、改善するよう心掛けてきた。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	7			毎年、ホームページで公開している。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	2		5	現在行っていないが、今後検討していきたい。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	8			外部研修に積極的に参加したり、内部研修を行っている。
適切 な 支 援 の 提 供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	7	1		アセスメントの結果を個別支援計画作成会議で検討し個別支援計画を作成している。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	3	2	2	今後支援に反映できるよう、より良いものを使用していきたい。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	6	1	1	担当を決めた上で立案し、職員間で共有している。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	4	3	1	固定化、マンネリ化しているものもあるので 今後は、新しい活動を取り入れていきたい。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	5	1	1	毎回、課題を設定して支援しているが、今後は更にきめ細やかに設定していきたい。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	4	4		個別活動は今後、内容を充実させていきたい。

	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	8			毎日必ず打ち合わせを行い、確認している。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	4	3	1	支援終了後の打ち合わせの時間は設けていないが、その日の振り返りは行っている。できない時は次の日に行っているが、パート職員は時間的に難しい面もあるので申し送りノートを活用している。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	8			スタッフ間で分担して記録を入力している。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	8			6ヶ月毎に実施し、職員間で共有している。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	5		2	実施しているが、時々、確認する必要がある。
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	7			毎回、子どもの状況を職員間で確認してから自発管が参加している。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	8			できるだけ密に取っている。情報を共有したり、下校時刻の確認等行っている。必要に応じて支援会議に参加している。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	1	2		該当する利用者がいない
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	3	1		児童発達支援事業所や相談支援事業所との連携は密に取り合っている。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供するなどしているか	3	2		現在のところ、該当者がいない。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	6			児童発達支援センターとの連携は取っている。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	2	2	3	公共の施設を利用することがあり、その時に障がいのない子どもと交流する機会はあるが、今後、児童館との交流も考えていきたい。
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	2	2	2	
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	6	1		保護者が迎えに来た時や連絡帳にて子どもの状況を伝えている。また、「むすびだより」を発行したり、活動の様子を玄関に掲示したりしている。
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	7			毎年、大学教授を講師に招いてペアレントプログラムを実施し保護者の方が参加している。

保護者への説明責任等	③⑩	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	7	1		契約時に十分に行っている。
	③⑪	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	8			希望する保護者には相談の機会を設けて行っている。
	③⑫	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		1	3	現在、保護者会の組織はないが、今後、保護者同士で話ができる場を設けていきたい。
	③⑬	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	8			保護者の話をよく聞いて丁寧に対応し、職員間で共有している。
	③⑭	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	7	1		・隔月毎に「むすびだより」を発行し、情報を発信している。
	③⑮	個人情報に十分注意しているか	8			・取り扱いには十分留意している。
	③⑯	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	6	1		子どもには視覚支援を行い、保護者には口頭、連絡帳、プリント、メール等で情報を伝達している。
	③⑰	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		1	6	高校生と一緒に活動を行い、交流しているので、今後も継続していきたい。
非常時等の対応	③⑱	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	6	1	1	職員には周知しているが、保護者には周知していないので今後、保護者にも周知できるように検討していく必要がある。
	③⑲	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	7		1	計画を立てて定期的実施しているが、職員の出入りがあったので、再確認する必要がある。
	④①	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	7			・毎年、社内研修で外部講師を招き、実施している。
	④②	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	6			契約時に保護者に説明し、個別支援計画にも記載している。
	④③	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	6	1		・おやつは持参してもらい、対応している。
	④④	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	5	1	1	どのような場合に作成するべきか共通理解を図っていきたい。
計			202	40	27	